



—湾岸・アラビア半島地域ニュース—

サウジアラビア：新鉄道建設計画

(6月15日付アラブ・ニュース紙)

サウジ鉄道 (SR0) のアブドルアジーズ・アル・ホカイル総裁の発言；

1. リヤド・ジェッダ間鉄道建設について：

- (1) 契約が獲得出来れば、サウジ政府が 20%、民間コンソーシアムが 80%を出資してリヤド・ジェッダ鉄道 (通称：ランド・ブリッジ・プロジェクト) を 50 年間にわたり経営する新会社が結成される。
- (2) ランド・ブリッジ・プロジェクトは、リヤド・ジェッダ間 950 キロ及びダンマン・ジュベール間 115 キロの新鉄道建設が含まれ、数十億リヤルに上る鉄道拡張計画の土台となり、紅海と湾岸を結ぶ最初の鉄道となる。
- (3) Agiliry PWC Logistics Consortium、Mada Consortium、Saudi Binladin Consortium、Al-Muhaidib-ACWA (Tarabot) Consortium の 4 コンソーシアムから 50 億ドル以上に上回るの予測される同プロジェクトの資金・技術面でのオファーが提出されており、SR0 としては新会社及び新運輸規則に関する二つのプロポーザルを関係上層部に既に提出済みである。
- (4) 提案されている新会社は、サウジ鉄道の民営化に向けた一歩となる。

2. メッカ・メディナ間鉄道建設について：

- (1) メッカ・ジェッダ・メディナの 500 キロを高速電化鉄道で結ぶハラメイン鉄道プロジェクト (通称：MMRL) には近代的な信号・通信システムが設置される。
- (2) 本プロジェクトには、Al-Rajh Consortium、Saudi Binladin Group、Saudi Oger、Saudi-Japan Consortium、Al-Shoalah Consortium、OHL International の 6 コンソーシアムが契約獲得に競っている。
- (3) MMRL では、ジェッダ港、ジェッダ空港、ラビーグの King Abdullah 経済年に駅が設置される。
- (4) 我々は、本プロジェクトについての報告書を最高経済評議会に提出済みであり、現在同評議会の承認待ちの段階にある。